

2017年2月21日

報道関係各位

ダイキン工業株式会社  
同志社大学

## ダイキン工業と同志社大学 研究・教育に関する連携大学院協定を締結

ダイキン工業株式会社（以下、ダイキン工業）と同志社大学は、このたび、企業と大学との「協創」による技術革新や技術者育成教育プログラム開発を目指した、研究・教育に関する連携大学院協定<sup>※1</sup>を締結しました。

技術の進歩がかつてない勢いで加速している現代において、既存の枠を超えた多種多様な知識や技術の組み合わせによる「協創イノベーション」と、日本のものづくり技術を支える「高度人材育成」が求められています。

技術革新への取り組みとしては、まず環境貢献技術の一つである空調機の省エネ「インバータ技術」の共同研究を行います。同志社大学のコンピュータ上でのパワーエレクトロニクス回路の動作解析・設計技術と、ダイキン工業の空調機から出る電磁ノイズを室内機・室外機に分けて計測できる世界初の電波暗室<sup>※2</sup>を用いた計測技術を組み合わせ、全世界のどのような環境でも省エネで電磁ノイズの少ない、革新的なインバータ回路技術の開発を目指します。

また、同志社大学の教員と連携し、グローバルに事業を展開しているダイキン工業の技術者が大学教授として大学院生の指導や論文審査を行うことで、世界で活躍できる次世代の技術者育成に取り組みます。

ダイキン工業と同志社大学は、今後技術分野での連携のみならず、身体・生命、先端技術、情報などの多様な知恵を糾合した協創活動に取り組むことで、新しい社会的価値を生む製品・サービスの創出を目指します。

※1 連携大学院協定：企業などの研究者が連携協定締結大学院の客員教授に就任し、最先端の研究を通して、大学院生を学位取得まで指導するもの。学生の資質向上を図り、相互の研究交流を促進することにより、学術及び科学技術の発展に寄与することを目的とする。

※2 電波暗室：ダイキン工業の技術開発拠点、テクノロジー・イノベーションセンターに備えられている、空調機の室内機・室外機を接続し、同時に運転しながら電磁波の計測ができる世界有数の施設。外部からの電磁波を防ぐと同時に、空調機内部から発生した電磁波を壁面や底面の特殊素材が吸収し、室内で反射しないように設計されている。

【上記の件についてのお問い合わせ】

ダイキン工業株式会社

コーポレートコミュニケーション室 広報グループ

本社 TEL : 06-6373-4348

東京支社 TEL : 03-6716-0112

同志社大学

理工学部・理工学研究科学部事務室 TEL : 0774-65-6200